

佐賀県回遊PR

唐津市　編

海と城下町。
歴史と自然が彩るまち。

七ツ釜 （ななつがま）

■概要

国の天然記念物にも指定されている七ツ釜は、玄武岩がその波の荒々しさで知られる玄界灘の荒波にさらされ浸食されてできた景勝地です。断崖は深くえぐられ、その名の通り7つの洞窟が並列し、自然の驚異を感じさせてくれます。最大の洞窟は間口約3m、奥行き約110mにも及び、波の状況が良ければ遊覧船で洞窟内に入ることもできます。

（あそぼーさがHPより引用）

■住所

佐賀県唐津市屋形石

■アクセス

車：長崎自動車道多久ICから車で60分

唐津市街地から車で約30分

JR：JR唐津線、筑肥線唐津駅からタクシー利用で20分

バス：唐津市大手口バスセンターより「湊・波戸岬線」乗車、バス停「七ツ釜入口」下車（34分）。バス停より歩いて約30分。

■HP

https://www.karatsu-kankou.jp/spots/detail/4/







写真提供：佐賀県文化観光連盟

ルート・グランブルー

2023年11月12日開通した国道204号唐房(とうぼう)バイパス。唐房バイパスから波戸岬まで約20km続くドライブコースを「ルート・グランブルー」と名付けられました。グラン・ブルー（Grand Bleu）は、フランス語で「雄大な青」「深い青」を意味する言葉です。ルート・グランブルーの周りには1年を通して個性豊かな自然や文化、歴史、グルメ、アクティビティがいっぱい！

おとなからこどもまで楽しめる唐津・呼子・玄海の旅『グランブルー・ツーリズム』を満喫しませんか？

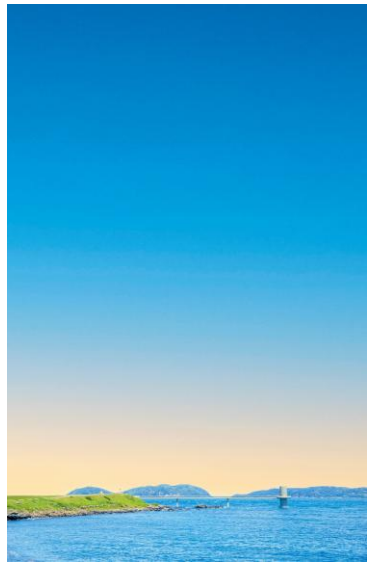
ルート・グランブルーについては詳細は　こちら

七ツ釜を含めたドライブコースの詳細は　こちら

〇ルート・グランブルーにて見られる景色









唐津城

■概要

舞鶴城とも呼ばれる唐津城は、海に突き出た珍しい立地に位置しており、城内の展望所からは唐津湾や虹の松原を一望できます。周囲には約220本のソメイヨシノが咲き誇り、桜のピンクと海の青が織りなすコントラストは、日本情緒あふれる素晴らしい景色を創り出します。また、桜の見頃の時期には日没後から22時までライトアップが行われ、夜桜の美しさも楽しむことができます。

（あそぼーさがHPより引用）

■住所

佐賀県唐津市東城内8番1号

■アクセス

長崎自動車道小城スマートICより車で7分。JR唐津線小城駅より徒歩3分。

JR長崎本線佐賀駅より車で25分。

■HP

https://www.karatsu-kankou.jp/spots/detail/181

写真提供：佐賀県文化観光連盟



環境芸術の森

■概要

森本来の機能を取り戻そうと環境に配慮し、私有林を生かして地元有志が40年近い歳月をかけて築き上げられた美しい森。約10000本のモミジやカエデが豊かに色づきます。100年前に建てられた旧家の廃材で作られた「風遊山荘」では、お茶など休憩することができます。

（あそぼーさがHPより引用）

■住所

佐賀県唐津市厳木町平之667

■アクセス

長崎自動車道「多久インター」より車で約20分

西九州自動車道「唐津インター」より車で約40分

■HP

https://morisaga.com/

写真提供：佐賀県文化観光連盟

名産品・特産品





■呼子のイカの活造り

呼子を代表する料理といえばイカの活造り。透明なイカの身は新鮮そのもの。呼子に行ったら一度は食べてみたい一品です。





■唐津バーガー

ご当地グルメとして親しまれています。発祥は、名勝・虹の松原で販売されてきたキッチンカー。どこか懐かしくて贅沢な味わいが魅力です。





■唐津焼

江戸時代から続く伝統工芸「唐津焼」は、素朴で味わい深い器が人気。お皿や湯呑みなど、食卓で使える品はお土産にも最適です。

あそぼーさがHPより引用
写真提供：佐賀県文化観光連盟